

令和5年度 学校関係者評価委員会の評価報告

奈良文化幼稚園

1.学校関係者評価実施日 令和6年3月29日(金) 10時00分～

2.参加者 園長、副園長、主任、教諭、評価委員(3名)、事務員 計8名

この度、学校関係者評価を行う評価委員を設置し、令和5年度 自己評価公表シートをもとに園長を中心として、評価委員に評価をしていただきました。

○自己評価公表シートを受けて

【大項目】Ⅰ 教育活動に関するもの

- ・「遊びこそ学び」を理念に、「心と体」を育む教育を0歳児から5歳児まで行い、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿の実現に向けた取り組みをきめ細やかに行っている。
- ・奈良っ子はぐくみ自然保育認証施設として認証され、「わんぱくの森」の活動を中心に各学年の発達に応じた取り組みを進め、教育要領に基づいた保育課程と教育課程の指導計画編成を行いアドバイザーの先生の指導のもとに改良を重ねている。年齢に応じて子ども達が遊びたいと思う環境を作り、興味・関心が増え活動が活発になるよう環境を工夫したことがよかった。
- ・育友会の方や保護者の方が子ども達を中心に考えて活動していることが素晴らしいと思う(絵本のひろばやお別れ会でのコンサートなど)。子どもの喜ぶ姿を見ていると保護者の活力につながる。本部役員以外でも何か幼稚園でできないかと動こうと考えてくださる保護者の方がたくさんおられるのがうれしい。お日さまパン屋さんの取り組みにより、お金のやりとりを学んだり、買い物の経験をしたりしたことが日々の遊びや経験につながっていくことがよかった。
- ・縦割り保育で異学年との交流により、上の学年が思いやりをもってお世話をすること。下の学年は言うことを聞いてなかよくすることなど人に対する接し方を自然と学んでいると感じた。バスでのつながりもあり、園庭で一緒に遊んでいる姿もほほえましい。
- ・給食については、健康元気給食に取り組んでいただいている。はじめは納豆も苦手な子がいたが、少しずつ食べられるようになりほめていただくことで食べようという意欲も出てきた。家ではしないメニューがあり、めずらしいおかずが美味しいと喜んでいる。特にお味噌汁はおいしいと言っている。
- ・設定保育では、絵画や制作を自分の感性をいかし、豊かな発想力及び自発的に自分の思いを大切に組み立てる環境が良いと感じた【例：様々な色(自由な感性で表現)を使用している。自分で持てないくらい大きな作品を作っている】。

【大項目】Ⅱ 学校経営に関するもの

- ・長時間の預かり保育が増えているが、これは働く保護者が増えてきている結果だと思う。
- ・実習生が長期にわたってくること、園児が実習生になれるとともに、甘えることが多い。たくさんのお母さんがあることはうれしいが園児が落ち着かないことも多く、先生方が大変だと思う。
- ・子育て支援に取り組んでいただいていることがうれしい。「お日さまぼっかぼかルーム」体験入園「みつばち・ぶん」ほっこりでの「ジャザサイズ」「おみそづくり」「教育講演会」など楽しい取り組みが多かった。

以上の意見が出ました。この意見をしっかりと受け止め、今後も職員一丸となってよりよい教育と保育の充実を目指してまいります。